東福保育園　　2歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	好きな色で描く

2025年　　5月　　28日（水）

子どもの姿	・絵本や生活の中で色の名前を知る。 ・自分の好きな色を言う子もいる。 ・絵の具でのスタンプあそびやクレヨンでの自由画を楽しむ。
「問い」を考える	・身近な色に触れる。 ・好きな色でのびのびと描くことを通して色に親しむ。
活動をデザインする	・色をテーマにした絵本を見せて、どんな色があるか知らせる。 ・色が何色か意識できるようなことばかけを生活の中で取り入れる。
環境をデザインする	・大きな紙を用意してのびのびと自由画を楽しめるようにする。（模造紙・3枚をつなげる） ・クレヨンを使いやすいようにトレーに入れる。 ・床で描けるように下敷き（ブルーシート）を広げる。
小グループを構成する	・5人で行う。 ・これまでの絵本の読み聞かせへの反応や、色へ関心を持つ子、描くことが好きな子が参加できるようにした。
振り返り	導入は「えをかくかくかく」という絵本を読み聞かせたがその前から子どもたちが色に関心を持てるように、色に関する絵本を少しずつ読み聞かせたり、自分の衣服など身につけているものの色を普段から意識できるように言葉をかけたりしていた。何色かわかる子、言える子も多くなった。 ロール模造紙を用意して、クレヨンの伸びもよく、手にしやすかったので子どもたちも描くことに集中できていたと思う。自分の好きな色で描いたり、色によって描くものを変えたり、丸や小さい塗りつぶしでいろいろな色を使ってみたりと、子どもによって楽しみ方も違う。子どもの様子を見守る中で、相槌以外に余計な言葉をかけてしまった時もあったので、やめるようにする。 友だちと言葉を交わしながらお絵描きを楽しむ子もいた。今のこの時期は自分で描いたものが何かを意識していない子も多い。反対に何かと後付けで考える子もいた。クレヨンで描いた線を触って確かめる子もいた。子どもが色のイメージを持っていた。（黄色→優しい色など） 今後もクレヨンでのびのびと描く環境を作り、色に親しめるようにしたい。白色を使う子もいたので、黒や紺など濃い色の紙に描く機会も作りたい。また、はじき絵、えのぐあそび、色混ぜなど活動を広げていきたい。 記録の方法として子どもの描いた絵に何を描いたか書くのではなく、その絵を見た時に「こんなふうに見える」違う時に見た時には「また違うものに見える」といった感じ方の変化や、他の子が見た時に出てくることばに耳を傾けられるようにしたい。じっくりと描きこめるように、紙などしっかりと固定することが大切。

子どもの言葉・姿	写真
・（紙を広げる）A「わーすごい。これなに？」 （「これ持って描いていいよ」）・「やったー」「いっしょにかこう」 ・T「だだんだん。できない」 ・S「できた」（「それはなあに？」）「……」 ・T「だだんだん」「カレーパンマン」 ・A「みどり」・「しろしろー」 ・S「みて、みて」・「ほらかわいいーみて」・「オレンジ」 ・T「アンパンマン号」・A「あかじゃーん！」・R「かっこいいの」・「みどり」・K「くろ」・A「おばけ」・S「ピンクと青と」 ・A「これちいさいのよね」 （「紙の上に乗って描いていいよ」） ・R「くつした」「くつしたのなかにも」 ・T「たんぽぽ」「どんぐり公園」 ・S「オレンジ一緒」・「あか」・「あお」 ・R「あんぱんまんのあか」・「オレンジはカレーパンマン」 ・A「おばけぬりぬりして」・A「ぐりぐりぐり」 ・T「黄色いだだんだん」・「ぐるぐるまんと」 ・S「赤ちゃんみたい、かわいー」 ・T「なんだこれ？」A「これはね、くぐるやつ」・R「でんしゃだよ」 ・A「いまいっしょにあそんでるんです」・「これ楽しーい」 ・白で描く子もいた（「だれか白使って描いた人がいる」）A「○○ちゃんだよ」（「白って見える？」）・A「見えない」（「なんで見えないんだろう？」）・よく見てみる子もいる。R「みえた」 ・「ビービービー描いた」 ・A「おばけ、おばけ」（黒で描く）・A「きいろ、黄色でかわいくなるよ」・A「かわいくなったよ先生」 ・S「こわい」「私こわいのかきかきしてくるかもしれないよ」 ・R「もうちょっと描くかな」 ・R「これこわい」・A「こわくないよ、これ黄色で塗ったら怖くないよ」 ・A「いっしょにかこう」「黄色でかわいくしよう」 ・S「アンパンマン号外に行っちゃった、みにいってくる」	